



戦争絶対反対！ 市東さんの南台農地を守ろう！

7・7農楽まつりに ご参加ください

空港周辺住民のみなさん。私たちは7月7日、成田市東峰の畑で農楽まつりを行います。ぜひご参加ください。

昨年、市東孝雄さんが現に耕す農地を強制執行で奪うという悪逆非道の行いに手を染めた成田空港会社(NAA)への怒りは今なお燃え盛っています。

「更なる機能強化」「『新しい成田空港』構想」の狙いは戦争準備に他なりません(2面)。NAAは、恥知らずにも嘘八百を並べ立て耕作権裁判で南台農地を奪おうと躍起になっています。

今こそ「戦争絶対反対、農地死守・実力闘争」の原則を貫き闘う団結を！ 反対同盟・全国の仲間と交流しましょう。



昨年の農楽まつりで歌にあわせ踊る参加者



天神峰南台農地から萩原さん東峰の畑までデモ

市東さんの南台農地を守ろう！ 耕作権裁判 & 千葉地裁デモ

◎7月8日(月)

午前9時 千葉市中央公園集合→千葉市内をデモ

午前10時30分 開廷 千葉地裁 601号法廷

7・7農楽まつり

◎7月7日(日)

午前10時 市東さんの南台農地集合

萩原さんの清水の畑までデモ

正午 農楽まつり(@清水の畑) 15時半終了

バンド演奏など予定 ※雨天中止、昼食持参

戦争準備が目的の「機能強化」「新しい成田空港」構想

成田空港会社（NAA）は「更なる機能強化」（C滑走路新設、B滑走路の1千北延伸、飛行時間延長）と一体で、『新しい成田空港』構想を急ピッチで進め、7月にも最終案を国に提示するとしています。

●採算度外視、予算は青天井

NAAの構想によると、2030年代前半の供用を目指し、現在の3つのターミナルを全部つぶしてワンターミナルに集約。現在の分散した貨物地区も1カ所に。鉄道も敷き直し、新駅をつくるというものです。

そもそも第3ターミナルの容量を1・6倍にする大拡張工事を22年にしたばかり。またすぐに壊して造り変えるというのは、普通の会社ではありえません。

NAAの田村明比古社長は、「NAAは100%国所有の会社」と述べ、鉄道以外の旅客・貨物施設の建設だけで8千億円と試算しています。

●長い滑走路は戦争に使うため

採算度外視で成田を根本的に作り変える本当の理由は、自衛隊・米軍の使用を容易にするためです。

浜田靖一前防衛大臣は22年、「滑走路が長い空港は部隊の運用上の有用性が高い」「自衛隊が平素から使用できるよう協力を要請している」「成田と下地島は軍事利用に制約がある（から解除せよ）」とその狙いをあけすけに語っています。

政府は今年4月「特定利用空港」に5つの民間空港を指定し、滑走路の延長のための予算をつけました。成田の場合は、「機能強化」で滑走

路の延長・新設が決まっているため改めて指定する必要はありません。

来春にも日米の統合作戦司令部がおかれる米軍・横田基地の滑走路が使えなくなった場合に備えて、成田の拡張を進めているというのが真の狙いなのです。

●物流拠点＝兵站（へいたん）拠点
ところが、千葉県知事も地元市町の首長も成田拡張の軍事的な側面にまったく触れることなく国とNAAの尻押しをしています。

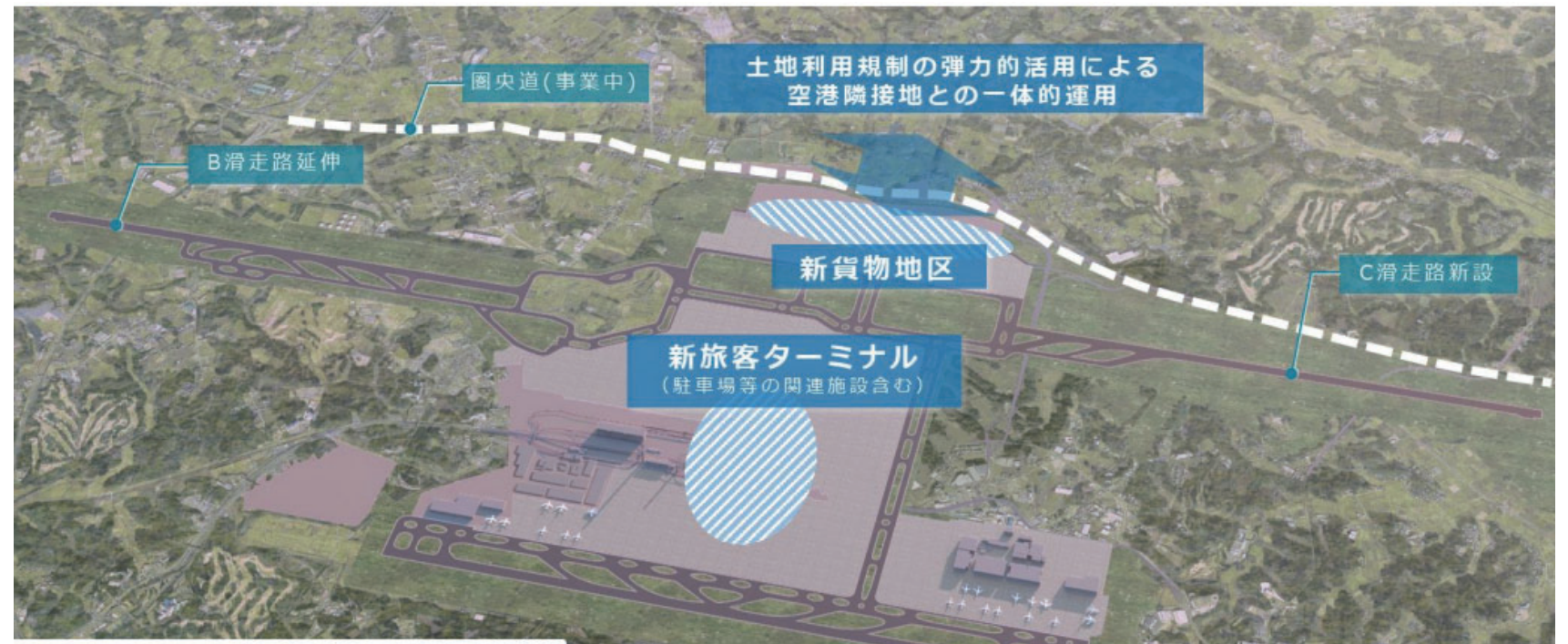
熊谷俊人知事はインタビューで「成田は国際物流拠点。これは国家プロジェクトだ。産業拠点を作り上げることは経済安全保障上、極めて重要」「政府はもっと主導性を発揮せよ」と述べています。産業拠点の産業には軍需産業も含まれます。熊谷知事は来年5月に開催予定の国際武器見本市の会場として千葉県の県有施設である幕張メッセを貸し出そうとしています。物流拠点は有事の際の兵站（へいたん）拠点。軍都・千葉の復活を許してはなりません。

●貨物空港は更なる騒音地獄招く

また、たとえ平時であっても、貨物便は深夜早朝の発着が多く、旅客機よりも機体も大きいので騒音被害の拡大は必至です。

住民の命と暮らしと真っ向から対立する「機能強化」「新しい成田空港」構想に絶対反対の声を上げましょう。

拡張工事阻止のフィールドワーク（現地調査）も随時行っていますので、ぜひご参加ください。



新基地建設許すな！ 辺野古座り込みに参加 土砂搬入を実力で阻止！

5月20日、辺野古ゲート前座り込みに反対同盟の萩原富夫さんが参加しました。

集まった400人の仲間と共に午前中の工事車両の搬入を完全ストップ。萩原さんは、沖縄の闘いと連帯し、成田の軍事空港化を阻止する決意を述べました。

またしても米兵による少女への性的暴行事件が繰り返されました。基地あるがゆえの凶悪犯罪を絶対に許すことはできません。外務省による3カ月に渡る事件隠しも許せません。今こそ、本土ー沖縄が一つになって、安保粉砕・全基地撤去の声を上げようではありませんか。



辺野古ゲート前座り込み参加者に訴える萩原さん（5月20日）

地域住民の声

今回は芝山町と横芝光町の住民から。住み慣れた愛着ある家を離れる辛さ、町に戻らない子どもたち。ふるさとを奪い、住民を下に見た言葉づかい、回りくどい言い方で住民をだますNAAへの怒りの声です。

◆菱田に滑走路を造ると聞いて胸がゾワゾワしちやったよ。声を上げ続けることが大事。

芝山町 女性

ここは本当にうるさくてしょうがないけれど、やっぱり出ていきたくない。

私ら夫婦はそのうち死んじゃうし、子どもたちは家庭を持っているので、もうここにはもどってこないって。まだ十分住める家だし、小さな畑もあるのに残念で。菱田の方はどんどん追い出されて、みんな移転してしまったのか……。そこに滑走路を造るのかい！

今、その話を聞いて胸がゾワゾワしちやったよ。やっぱり反対同盟のように声を上げ続ける人がいないとダメなんだね。署名します。陰ながらで申し訳ないけれど、応援しているよ。がんばって下さい。

団結街道裁判

◎7月16日(火) 午後1時30分開廷
千葉地裁601号法廷
萩原富夫さんの本人尋問

◆成田空港周辺の住民は“対策”の対象？ 丁寧な説明と言うなら分かりやすい言葉を使うべき。
横芝光町 男性

毎年、成田空港会社から多額のお金が周辺自治体に配られているようですが、その名前は「成田空港周辺対策」と言われています。一般に“対策”というのは、例えば、“新型コロナ対策”とか“失業対策”とか、よくないもの、改めなくてはならないことについて使われる用語です。そのことを思うと、成田空港周辺の住民はやかましいことばかり言ってしょうがないから、抑え込むために金でも配ろうかと、そういう発想のお金なのかなあと 생각합니다。

ついでに、言葉の使い方ももう一つ。今回の「成田空港の更なる機能強化」の中に深夜早朝の飛行時間の延長がありますが、成田空港会社は「夜間飛行制限の変更」などと回りくどい、難解な言い方をしています。「夜間飛行時間の延長」こそが、分かりやすい言い方だと思います。丁寧な説明を標榜するなら、まず分かりやすい言葉を使ってもらいたいなあ、と思います。

※団結街道裁判とは

成田市天神峰で営農する市東孝雄さんの自宅と南台の耕作地を直線で結び、日々の農作業に不可欠だった成田市道(通称:団結街道)を成田市は2010年6月、暴力的に封鎖・廃止し、土地を格安で成田空港会社(NAA)に売り飛ばしました。「一般交通の用に供する必要がなくなつたと認める場合」(道路法10条)ではないにもかかわらず廃道処分を行った小泉成田市長の違法を追及し、成田市の決定の無効と封鎖している妨害物の撤去を求めています。